



テーマID	220
タイトル	-196℃の世界
講師名	木原 伸浩

水は冷やせば凍り、温めれば水蒸気になります。

空気中にある水蒸気は、冷えたコップの周りに水として現れます。

おなじように、空気も、冷やすと、水のような液体になります。

そのためには、うーんと冷やさなければなりません。でも、-196℃まで冷やすと、

空気（の主成分の窒素）は液体になるんです。それはそれは、とても冷たい！

水のように見えるけれど、水じゃないよ。

冷たすぎて、野菜も、花も、ゴムも、みんな凍ってしまいます。風船は完全に縮んでしまいます。

凍ったらどうなるでしょう。実際に触ってみて、不思議を実感してください。

縮んだ風船はどうなるでしょう。実際に感じて、不思議を実感してください。

